

さいたま市文化財時報

# かや 榎りぼーと

## 第3号

### 埋蔵文化財の調査

さいたま市では旧三市から引き続き、遺跡の範囲内において実施される各種工事に先立ち、遺構・遺物の有無を確認する調査を実施しています。平成13年5月の三市合併から11月までに、この遺跡範囲確認調査を約130件行っています。また、遺構・遺物が確認されたなかから現状保存ができないものについては、失われてしまう埋蔵文化財を記録で保存するための発掘調査を実施しました。これらの成果は、さいたま市の歴史を語る上で欠かせない貴重なものです。最近の発掘調査のなかから主な遺跡を中心にご紹介します。

#### そばがやとかいづか 側ヶ谷戸貝塚（三橋4丁目）の発掘調査

宿舎建設部分の発掘調査で縄文時代前期の住居跡が3軒、縄文時代中期の住居跡が3軒、弥生時代後期の住居跡が4軒、古墳の周溝が2基発見されました。縄文時代前期の住居跡は貝層を伴う貝塚で、ヤマトシジミなどの貝類や魚骨なども出土しました。古墳の周溝からは多量の埴輪破片が出土し、現在整理中ですが少なくとも、馬形埴輪が2体、人物埴輪が3体以上、円筒埴輪は10本以上になります。



古墳の周溝から埴輪が出土（側ヶ谷戸貝塚）



馬形埴輪：くらあぶみ鞍や鐙などの馬具を装備した飾り馬です。  
6世紀中頃

#### みずかみ 水深地区土地区画整理地内の発掘調査

道路が建設される部分を中心に水深北遺跡（第7次調査）と水深西遺跡（第4次調査）の発掘調査を実施しました。水深北遺跡では、縄文時代の土坑や近世の土坑・溝などを発見しました。水深西遺跡では、近世の溝などを発見し、縄文時代早期や中期の土器が出土しました。

**大門第二土地区画整理地内の発掘調査**

道路が建設される部分について、南方遺跡（第7次調査）と梶谷遺跡（第11次調査）の発掘調査を進めています。

南方遺跡では、縄文時代後期の土坑を発見しています。梶谷遺跡では、縄文時代中期の住居跡を8軒発見しています。住居跡のなかには、埋甕といって土器を床に埋め込んでいるものや、埋め込んだ土器を炉（いろり）に使っているものなどがありました。過去の調査成果とあわせて当時の集落の広がりを確認することができました。



埋甕のある住居跡の調査



平安時代の住居跡（B-22号遺跡）

**土呂土地区画整理地内（土呂町）の発掘調査**

道路建設部分を中心に大宮B-22号遺跡の発掘調査を実施しています。江戸時代初期に土呂陣屋がおかれたと伝えられている場所で、江戸時代の溝や井戸などを発見しました。土呂陣屋の範囲やそれ以前からこの地が利用されていた様子がわかり始めました。また、縄文時代後期の食べ物を貯蔵したと考えられる断面が袋状をしている土坑や、平安時代の住居跡なども調査し、それぞれの時代の集落の広がりがわかりました。

**大久保領家片町遺跡の発掘調査**

宅地造成工事の道路建設部分について発掘調査を実施しました。古墳時代前期の住居跡2軒と方形周溝を8基発見し、この時期の土器も出土しました。この周溝はこれまで、墓と考えられていましたが、最近、住居のまわりの溝であるものもあるのではないかと議論を呼んでいるものです。

今回の調査で、住居をきちんと囲むような形で方形周溝が掘られていたことを確認し、当時の住居の形を知る大きな手がかりになりました。



まわりに周溝がめぐる住居跡

**個人住宅建設に伴う発掘調査**

個人住宅建設に伴い、巽遺跡（本町東）、東裏遺跡（大字大門）、円正寺遺跡（大字円正寺）を、また、個人農地の開墾に伴い附島遺跡（大字大間木）の発掘調査を行いました。

巽遺跡では、古墳の周溝の一部分を調査しました。今はわからなくなってしまった古墳がこのあたりに存在したことがわかりました。円正寺遺跡では弥生時代中期の住居跡を調査しました。直径10mもある大型の住居跡で、ムラの中心的な役割を持った建物であったとも考えられます。また、弥生時代後期の土器も多数出土しました。附島遺跡では縄文時代早期から後期の土器が出土しています。





異遺跡の発掘調査



まわりに柱の穴がめぐる住居跡（東裏遺跡）

東裏遺跡では、今までに区画整理事業に先立つ発掘調査が数回行われており、弥生時代中期や平安時代の竪穴住居跡が発見され、当時のムラの様子が、徐々にわかってきました。今回の調査では、弥生時代中期の住居跡2軒、平安時代の住居跡4軒などを調査しました。弥生時代の住居跡からは、壺形土器・甕形土器などが、出土しました。平安時代の住居跡からは、坏形の須恵器や、土師器の甕形土器、坏形土器、甗形土器などが出土しました。平安時代の住居跡のうち1軒は、住居跡外側に2重に柱の穴が掘られており、住居の構造を考えるうえで、貴重な調査例となりました。

### その他の発掘調査

宮本東遺跡（宮本2丁目）では住宅建設に伴う発掘調査で、縄文時代前期の住居跡を発見しました。

さくら塚（大字三室）は宅地分譲に伴う発掘調査で、中世の常滑焼きのすり鉢や古銭が出土したことから、これまで不明でした塚の時期が明らかになりました。

二度栗山遺跡（新中里3丁目）では、縄文時代早期の炉穴6基、縄文時代中期の住居跡1軒、縄文時代後期の住居跡1軒、土坑1基、弥生時代後期の住居跡4軒、古墳時代前期の住居跡2軒などを発掘調査し、多くの土器や石器が出土しました。

大戸本村1号遺跡（大戸3丁目）では、道路建設に伴い発掘調査し、縄文時代中期の住居跡1軒や土坑を調査しました。有孔罎付土器と呼ばれる珍しい形の土器も出土しました。

大久保領家遺跡（大字大久保領家）では、宅地造成工事の道路部分について発掘調査を実施し、平安時代の溝から、石帯と呼ばれる官位を授けられた役人が身につけたベルトの付属品が出土しました。

## TOPIC

### 文化財展・最新出土品展の開催

10月4日(木)～9日(火)の6日間、大宮西口ショッピングセンター（DOM）一階特設会場において、文化財展を開催しました。最新の出土品を公開するとともに民俗芸能を写真パネルで紹介しました。

また、最新出土品展として、引き続き10月17日(木)から25日(木)までさいたま市役所本庁舎1階ロビーにて、10月27日(土)から11月4日(日)まで土器の館で展示公開しました。



## 第1回文化財保護審議会の開催

9月28日、第1回文化財保護審議会の開催に先立ち、次の15名の委員が委嘱されました。

|                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 斎藤英俊委員・田澤年美委員（建造物）          | 青木忠雄委員・内藤勝雄委員（美術・工芸）       |
| 岡本東三委員・塩野博委員（考古・史跡）         | 田代 脩委員・原由美子委員（古文書）         |
| 老川慶喜委員・吉本富男委員（歴史資料）         | 倉林正次委員・茂木 栄委員（無形文化財・民俗文化財） |
| 掛川 繁委員・小杉昭光委員・安田啓祐委員（天然記念物） |                            |

また、会長に倉林正次委員、副会長に掛川繁委員が選ばれました。

第1回の審議会では、さいたま市指定文化財の候補物件、文化財保護全般について審議されました。

### 文化財保護日誌

- |   |   |
|---|---|
| <p>13. 9.14 日向北遺跡確認調査<br/>9.17 矢垂遺跡確認調査<br/>大戸本村2号遺跡確認調査<br/>サクラソウ自生地帰化植物除去開始<br/>9.18 B-100号遺跡（三橋2丁目）確認調査<br/>9.19 円正寺遺跡発掘調査（～10.11）<br/>9.25 水深北遺跡確認調査<br/>B-22号遺跡（土呂町）発掘調査（～継続中）<br/>9.26 北宿遺跡確認調査<br/>9.27 水深東遺跡確認調査<br/>9.28 文化財保護審議会<br/>附島遺跡発掘調査（～10.31）<br/>10.1 遺祖土向原遺跡確認調査<br/>台耕地稲荷塚古墳境界立会い<br/>10.2 並木貝塚確認調査<br/>西浦1号遺跡確認調査<br/>10.3 文化財展準備<br/>大戸本村1号遺跡発掘調査（～10.10）<br/>10.4 文化財展（DOM ～10.9）<br/>別所西野台遺跡確認調査<br/>総合的学習受入：大谷口中2名<br/>10.5 馬場小室山遺跡確認調査<br/>10.9 大和田高明遺跡確認調査（2件）<br/>皇山町遺跡確認調査<br/>文化財調査（南中丸のアカガシ）<br/>10.11 芝原北遺跡確認調査<br/>B-62号遺跡（三橋1丁目）確認調査<br/>10.12 細野遺跡確認調査（2件）<br/>大谷場上町遺跡確認調査<br/>10.16 落合陣屋確認調査<br/>10.17 最新出土品展（市役所ロビー ～10.25）<br/>側ヶ谷戸貝塚確認調査<br/>10.19 諏訪入遺跡確認調査<br/>本太4丁目遺跡確認調査<br/>永田家調査<br/>10.22 大古里遺跡確認調査<br/>10.23 遺祖土蔵下遺跡確認調査<br/>上木崎足立西遺跡確認調査<br/>10.25 並木貝塚確認調査<br/>坊ノ在家北遺跡確認調査<br/>10.26 上太寺遺跡確認調査<br/>10.27 最新出土品展（土器の館 ～11.4）<br/>10.29 並木貝塚確認調査<br/>大戸本村1号遺跡確認調査<br/>サクラソウ自生地帰化植物除去終了<br/>10.30 A-226号遺跡（深作）確認調査<br/>南部文化財保護担当者会出席（吹上町）<br/>10.31 宿宮前遺跡確認調査<br/>市内文化財めぐり<br/>11.1 坊ノ在家南遺跡確認調査<br/>文化財調査（氷川参道の並木・宮原の大ケヤキ）<br/>11.5 並木貝塚確認調査</p> | <p>11.6 C-52号遺跡（指扇）確認調査<br/>梅所東遺跡確認調査<br/>11.7 原山西原遺跡確認調査<br/>総合的学習受入：大谷口中7名（～10.9）<br/>11.8 大在家東遺跡確認調査<br/>水深西遺跡発掘調査（～11.15）<br/>11.9 文化財現状確認（上大久保水川神社本殿）<br/>11.12 水深西遺跡確認調査<br/>北宿遺跡確認調査<br/>11.13 水深東遺跡確認調査<br/>総合的学習受入：宮前中3名<br/>11.14 馬場小室山遺跡確認調査<br/>11.15 総合的学習受入：大谷口中12名<br/>11.16 南6号遺跡確認調査<br/>新里村サクラソウ自生地視察<br/>稲荷原遺跡確認調査<br/>11.19 本村遺跡確認調査<br/>文化財修理状況調査（木造聖観音菩薩坐像）<br/>総合的学習受入：大砂土中2名（～11.21）<br/>水深西遺跡発掘調査（～継続中）<br/>11.21 文化財調査（土偶・南中丸のアカガシ）<br/>並木貝塚発掘調査（～12.8）<br/>11.22 原山北原遺跡確認調査<br/>文化財調査（廓信寺）<br/>文化財現状確認（景元寺のシイノキ）<br/>郡山市視察<br/>11.24 市内塚調査<br/>11.26 上木崎足立遺跡確認調査<br/>中尾駒前遺跡確認調査<br/>11.27 東裏南遺跡確認調査<br/>総合的学習受入：向小3名<br/>11.28 塚本西耕地遺跡確認調査<br/>五関中島遺跡確認調査<br/>A-21号遺跡（染谷3丁目）確認調査<br/>文化財調査（ドウダンツツジ）<br/>総合的学習受入：内谷中4名<br/>11.30 文化財保護協会第2回理事会出席<br/>12.3 B-29号遺跡（本郷町）確認調査（2件）<br/>12.4 文化財調査（坂東家文書）<br/>12.5 梅所東遺跡確認調査<br/>間宮宮後遺跡確認調査<br/>12.6 総合的学習受入：大谷口中6名<br/>12.10 側ヶ谷戸貝塚確認調査</p> |
|---|---|

さいたま市文化財時報

樞りぼーと 第3号

平成13年12月28日

〈編集・発行〉

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

☎336-8633 さいたま市常盤6-4-4

☎048-829-1723